

## 2023年度 第4回 豊西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年2月7日（水）午前9時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 豊西小学校 会議室
- 3 出席委員 伊藤 豪、小栗 学、松島 秀夫、大場 康弘、長谷川 睦子、  
藤田 善博、水野 葉子、大村 ます美、袴田 和子、鈴木 孝子
- 4 欠席委員 なし
- 5 司会者 鈴木 真人（浜松市議会議員）、小林 剛（笠井協働センター 主事）
- 6 学 校 田中 公子（校長）、鈴木 睦二（教頭）、西谷 直訓（教務主任）、  
村松 美沙（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 村松 美沙
- 10 議長の選出

司会の教頭（鈴木）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長（伊藤）を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 「学校評価」「学校関係者評価」について
- (2) 来年度（令和6年度）の学校運営について
- (3) 学校運営協議会自己評価について
- (4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）について

### 12 会議記録

司会の教頭（鈴木）から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）「学校評価」「学校関係者評価」結果報告

議長の指示により、教務主任（西谷）から、別紙資料に基づき2学期末に実施した「夢をもちともに未来を切り拓く子」育成のためのアンケート集約結果についての報告があった。また、教頭（鈴木）より、「学校関係者評価」についての報告があった。

<御意見>

- ・朝の挨拶については以前よりも声が大きくなってきている。あいさつ運動に参加しているため、校外や他の時間に会っても気軽に挨拶や声を掛けてくれる子が増えて嬉しい。5年生のクラスでは、教室に入った際に子供たち自ら「こんにちは」と気持ちの良い挨拶をしてくれて素晴らしいと思った。学校の教育方針に沿って、地域に守られ、先生やPTAに守られて子供たちが育ってきていると感じる。（袴田委員）
- ・いつ来校しても廊下が綺麗で季節ごとや朝会等のタイムリーな掲示物があり、校舎がと

ても明るく感じる。授業参観や絵手紙を見ても人や物に感謝をしていて、子供たちと学校・先生・地域・親以外の大人と関わるキャッチボールができてい学校だと思ふ。

(孝子委員)

- ・ 道徳の授業は結論が1つではないので色々な意見がある中、子供たちの意見を先生が上手にまとめていて授業の質がとても良いと感じた。(長谷川委員)
- ・ 先生の言葉使いが丁寧で子供の意見を尊重していた。5年生の「本を紹介しよう」という授業では真っ白な紙に自由に書かせていて、キャッチコピー等の子供たちの言葉選びが素晴らしかった。また子供たちのプレゼン力が向上していると思った。(孝子委員)
- ・ 発達支援教室では子供たちが主体的に取り組み、個性を伸ばしてくれる指導で2つのクラスができて良かった。(長谷川委員)
- ・ 発達支援教室が知的・情緒と2クラスでき他の子にも良い影響がでている。今後はグレーゾーンにいる子の居場所をどうするべきかを考える必要がある。(伊藤委員)
- ・ 授業参観では下級生は明るく元気で、発表している子の方を体ごと向いて聞いている姿が素晴らしかった。先生方が良い雰囲気を作り一体感を感じた。80%に満たなかった保護者アンケート項目では、写し鏡ではないけど家庭へのアプローチも必要である。(大場委員)

## (2) 来年度(令和6年度)の学校運営について

議長の指示により、校長(田中)から、別紙資料に基づき「来年度の学校運営方針」についての報告があった。キーワードは「多様化とつながり」とする。

### <御意見>

- ・ いじめ対策について、発見から処理までの対応について知りたい。(長谷川委員)  
まずは学年で共有し、生徒指導主任・教務主任・関わる教員と話し合い、教頭先生に報告。会議の中で全職員に共有し以前の経過報告もする。双方の保護者へも指導やケアの方法も含めて報告する。在籍中は、データで閲覧できるようになっている。(教務主任)
- ・ いじめ対策については、対処がケースバイケースで苦勞が絶えないと思う。何でも言い合える学級作りをすると明るくなる。(伊藤委員)
- ・ タブレットの使用方法について、今後の家への持ち帰りを含めて知りたい。(大村委員)  
タブレットを使うタイミングは、教科や教員によって様々である。持ち帰りについては今後検討していきたい。(教務主任)
- ・ タブレット教育が始まると、わからないことを自分でひたすら調べて、人に聞けない状態になるのが怖い。(松島委員)
- ・ 対話で話し合う機会が減っている気がする。(伊藤委員)
- ・ 仕事場でも若い世代ほど会話が減っている気がする。目の前にいるのにチャットで伝えてくるし、訪問よりメールで送れば良いという人も多い。そのため、タブレットを使いながらも会話をする授業をしてほしいし、文字を書けなくなる傾向にあるため書くことを継続してほしい。デジタルデトックスという言葉があるが、そういう取り組みも大切

である。(藤田委員)

- ・ 道徳の授業での対話も大事だし、家族の中でのコミュニケーションも大切である。

(伊藤委員)

なお、説明された令和6年度学校運営基本方針(案)については、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (3) 学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、別紙資料に基づき、教頭(鈴木)より学校運営協議会の自己評価について説明があった。

<御意見>

- ・ 教育現場は一瞬しか見れないため偏った意見しか言えない。学校運営協議会委員が現場を見る時間を増やすべきだった。(水野委員)  
授業参観や学校公開日で実態を把握し、学校からも年間計画等案内する
- ・ 来年度の学校運営協議会に向けて、他校の取り組みを参考にしたり、多くの情報を集約していきレベルアップしていきたい。勉強の場も設けてほしい。(小栗委員)  
出前講座も実施しているので活用してほしい。(教育委員会 堀田様)
- ・ 自己評価表が書きづらい(藤田委員)  
学校運営協議会としての次年度の目標を年度末に作成し、第1回目の会議で確認する。  
熟議のポイントを絞る。
- ・ 情報開示については守秘義務・個人情報を除き、議事録等をホームページに掲載していく。

### (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)について

議長の指示により、別紙資料に基づき、教頭(鈴木)より夢育やらまいか事業について説明があった。

## 13 連絡事項

司会から、令和6年度のとよにし放課後音楽講座の募集と来年度の学校運営協議会委員について説明があった。

また、令和6年度第1回目の会議は、2024年5月13日(月)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。